



The Service Club for the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題：私たちは変えられる
アジア太平洋会長主題：アクション
東日本区理事主題：為せば、成る
あずさ部長主題：未来はそれに備える人のものである
甲府クラブ会長主題：肩を組んで、歩み行くワイズ

Moon Sang Bong (韓国)
田中 博之 (東京多摩みなみ)
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
廣瀬 健 (甲府21)
ピーター・マウントフォード

甲府ワイズメンズクラブ

2019 6月会報

●今月の強調目標
(評価)

■今月のことば■

自由、平等、博愛

(フランス共和国の標語)

石川 和弘 会員選

今月の例会案内

日時：2019年6月11日(火) 18:45~20:45

会場：ホテル談露館

担当：B委員会

司会：渡辺 徳之 君

プログラム

- ・開会点鐘 P・マウントフォード 会長
- ・ワイズソング・ワイズの信条 一同
- ・会長挨拶/ゲスト紹介 P・マウントフォード会長
- ・今月のことば 石川 和弘 会員
- ・食前の感謝 田草川すみ江 会員
- ・ワイズディナー
- ・東日本区大会報告とワイズ用語の解説
仙洞田安宏 書記
- ・委員会活動報告 各委員長
- ・第22回山梨YMCAチャリティーラン報告
山梨YMCA 露木 淳司 総主事
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・諸報告
- ・甲府ワイズの歌 一同
- ・閉会点鐘 P・マウントフォード 会長

5月のデーター

会員数 35名 ニコニコボックス 3,980円
内広義会員 1名 例会出席率 62%
例会出席会員 21名

ゲスト:横山義宏様(卓話者)・福田奈里子さん(山梨YMCA)、ビジター:大和田浩二さん(松本)

//// //// 巻頭メッセージ //// ////

会長 P・マウントフォード

皆さんもご存知と思いますが、先日の東日本区大会で当クラブの大澤英二ワイズが奈良傳賞を受賞されました。奈良傳賞は「ワイズダム発展に尽力」を認める賞で、皆さんもぜひ私と一緒にお祝いの声をあげてください。賞賛に値する業績と思います。大澤さん、おめでとうございます。

東日本区大会の基調講演は森重昭さんからいただきました。森さんは自分が被爆しましたが、広島で捕虜となった12人の被曝米兵の運命をどうしても明らかにしたかったのです。周りの人の無関心さと米国でのプライバシーの壁を乗り越えて、一人で頑張りました。全員の運命を解明して、記念プレートの設置もできました。その後、長崎原爆で捕虜オランダ・英兵の運命も解明しました。2016年に広島平和記念公園でオバマ米大統領と面会し、オバマ大統領は森さんを抱きしめました。非常に興味深く感動的なお話でした。

森さんはその動機を「人間だから」と説明しました。彼の成果は一人でも世界を動かすことができるというメッセージだと思います。ワイズメンも「集える人と肩組んで」世界を動かす夢も持っています。森さんを思い出して頑張りましょう。

Saeculum: サエキュラム。ラテン語の単語ですが、……を体験した人の皆が亡くなって、時代が終わりという意味です。太平洋戦争の体験者は少なくなっています。Saeculumが近寄っています。同様に口頭で体験を伝えるホロコーストの生存者も少なくなっています。そんな人達の声を知ると、彼らの不安と切迫を感じます。悲劇を決して二度と起こさないためにメッセージが届いているのか、人間は彼らの経験から何も勉強していないのか？

5月例会報告

荒川洋一

新天皇即位に伴い、元号が平成から令和に代わり、記念すべき第1回目の例会が5月14日(火)ホテル談露館で行われました。司会は廣瀬静雄さん。

ゲストは、卓話者の御嶽古道復元の会の横山義宏さん、山梨YMCA職員の福田奈里子さん、ビジターとして元山梨YMCA総主事松本クラブの大和田浩二さん。

開会点鐘に始まり、ワイズソング、ワイズの信条、ピーター会長のあいさつと続き、済本文雄会員による今月の言葉「新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ」を聞いた。



ワイズディナーの後、ゲスト横山さんの「御嶽(みたけ)古道の話」を聞く。

御嶽古道とは、金峰山を頂点とした山岳信仰の中で、山頂にある本宮に通じる道で、金峰山は平安時代に信仰の山として開山し、蔵王権現を祀り、修験道の道場となった。その後、神仏混合の修験道場として栄えた。また、金峰山を御神体とした神社が金桜神社で、ご神宝は水晶とのこと。そもそも修験道とは、特定の山岳で修業し超自然的能力を習得し呪術などの宗教活動や情報収集を行う山伏の宗教で、開祖は役小角(えんのおずぬ)。その後、修験者たちは盛んに活動したが、江戸時代に本山派(天台聖護院)、当山派(真言醍醐寺)に分属し、神仏分離令後、ほとんど見られなくなったそうだ。



続いて山梨YMCAの福田さんによる第22回チャリティーランの説明。今年はサッカーJ2のVF甲府の試合開始時間が早いため、集合時間に注意するよう説明を受けた。また大和田さんからは、信州にYMCAをつくりたい旨の熱いお話と、次期あずさ部の地域奉仕事業主査として、今後も例会に時々お邪魔したいとお話があった。



その後、バースデープレゼント、諸報告と続き定刻に閉会点鐘となりました。

5月役員会報告

▼日時:2019年5月28日(火)午後6時30分～8時

▼場所:山梨YMCA

▼出席者:マウントフォード・田草川・仙洞田・丹後・小倉・標・廣瀬・石川(博)・渡辺

報告事項

①5月例会報告:データは1ページ、内容は左段参照、会場の部屋がいつもと違い、こぢんまりとして良かったが、細長くて席のレイアウトに工夫が必要と思う。

②その他の報告

(1)5/11 あずさ部評議会(長野) 出席者: マウントフォード、大澤、仙洞田

(2)70周年関連報告:仙洞田会員より、5/17に新クラブ設立準備会を開催した報告があった。

協議・確認事項

①6月例会プログラムの件:担当:B委員会、チャリティーラン、東日本区大会、今年度委員会活動報告等

②今年度事業報告と次年度事業計画の件:委員会の事業報告提出の締め切りを6/25とする。70周年記念事業に関する予算を新年度に組み込む、また基金からの拠出は基金規則との関連から、今年度中に一件拠出するよう、基金運営委員会に要請する。6月例会前に、委員会を開くよう要請する。

③山梨YMCAチャリティーランの件:渡辺会員(会場部部长)と廣瀬会員(ラッフル部部长)から、5/24開催の実行委員会の報告と当日の参加予定者、集合時間等の説明があった。

④台南クラブ来甲の件:7/17アジア太平洋地域大会に併せて6名来甲する。宿泊と懇親会場の手配をした(ワシントンホテル)。

⑤アジア・太平洋地域大会募金の件:仙洞田書記から広告図案が提示され承認。広告代(3万円枠)を丹後会計から振り込む。

⑥その他:今後の予定を確認した。

(書記:仙洞田安宏)

5月例会(^_^) ニコニコメッセージから

◎大澤英二

横山義宏さん、ようこそ。興味深いお話を感謝。松本クラブから大和田浩二さん、ようこそ。

◎金丸さぶろう

4月には大変お世話になりました。皆様心より感謝しております。全てはY'sのおかげです。

※編集子注:金丸会員は、4月の統一地方選挙後開かれた甲府市議会において、第100代の議長に選出されました。(令和元年5月22日就任)

大澤会員、奈良傳賞受賞！

第22回東日本区大会報告 廣瀬 静男

6月1日～2日に第22回東日本区大会が開催され、初日に参加しました。会場は東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター、天気は曇りでしたが、代々木の森の初夏の風がとても心地よく感じられました。オープニングはチームトルアイの軽快なバトントワーリング、続いてバナーセレモニー、北海道部から始まり7部、61クラブがバナーを掲げて元気に登壇、ピーター会長はいつもの笑顔で入場した。ホストクラブ(東京サンライズ)会長の歓迎の挨拶、宮内理事の開会点鐘で開会式が始まる。聖書朗読、開会祈祷、続いて来賓の祝辞。メモリアルアワーでは故平原会員のラ・ロの会での写真が映し出されました。

休憩をはさんで東日本区アワー I、宮内理事の年次報告。1997年東日本区発足時1246名であった会員数が年々減少しており、会員増強が今後の最優先課題の1つであるとの報告もありました。クラブの設立条件の1クラブ15名以上の制約が緩和したことも奏功し、東京町田スマイリング、横浜つるみの新クラブが2つ誕生したことが明るいニュースでした。

年次代議員会報告、部長報告と続き、東日本区奈良傳賞授賞式。当クラブの大澤会員と宇都宮クラブの十河弘



会員の二人が表彰されました。1960に入会し、長年にわたり山梨YMCA、ワイズメンズクラブへ献身的な働きをされた大澤

ワイズは甲府クラブの誇りです。大澤メネットも壇上に上がりました。病気から復帰して間もない大澤会員は受賞後のスピーチで、主事時代の若き日、奈良傳さんからYMCA会館の建物のありようについて指導されたことが、忘れられない思い出であると元氣よく話されました。

記念講演は被爆死した米兵捕虜12人の真実を記録したドキュメント「灯籠流しPaper Lantern」の上映の後、8歳で被爆しこの記録を調査するため生涯をかけた歴史研究者森重明様のお話がありました。原爆で被爆し、病気になり亡くなる人がまだまだ続く、原爆の恐ろしさを知ってもらいたいとの呼びかけには、平和の願いを再確認し頭が下がる思いでした。

晩餐会では山田次期東日本区理事の、旧交と同時に新しい交わりも、との乾杯で始まりました。ビール、ワイン、料理も十分で、とても和やかな雰囲気の中で会員同士の交流がありました。私は厚木大会以来4年ぶりの区大会参加でしたが、高齢化のためか大分静かになった(元氣がなくなった?)と感じました。参加者:ピーター・大澤・大澤メネ・小倉・小倉メネ・仙洞田・丹後・廣瀬



〈甲府クラブの表彰〉

▼地域奉仕事業表彰

CS献金達成賞/ASF献金達成賞/FF献金達成賞

▼会員増強事業表彰

EMC-M部門 努力賞(2名の新入会員を獲得)

▼国際・交流事業表彰

BF献金達成賞/TOF献金達成賞/RBM献金達成賞/YES献金達成賞

第3回あずさ部善光寺評議会

ピーター・マウントフォード

5月11日(土)に長野クラブのホストで、あずさ部第3回評議会がありました。YMCAで甲府21クラブと合流して、露木総主事がYMCAバスを運転して、長野へ行きました。

梓川サーブエリアで休憩し、(善光寺平の風景は見事なので嫉捨はお薦め!)お昼前に善光寺に着きました。善光寺西側にある西之門よしのやでお昼を済ませました。21クラブの寺田さんの母の実家で、彼は若い時に荷物いっぱい、毎年の夏は1ヶ月ぐらい過ごしたそうです。ランチメニューは料理研究家土井善晴氏監修の地場産品、40種類以上のものが含まれていました。

第3回あずさ部善光寺評議会は勤労者女性会館しなのきで13時から開催されました。2月に予定された第2回評議会は大雪警報のせいで中止となりましたので、半年ぶり以上のあずさ部集会で、73人(名簿により)が参加しました。7件の議案(当日提案の1件含む)は異議なく可決されました。そして、2月に半年報告ができなかったため、今回、部長、各事業主査やクラブ会長が年間報告を発表しました。監事講評の後、YMCAの歌とあずさの道を歌って、閉会にしました。

評議会閉会から懇親会開会まで、1時間強がありました。参加者の一部は福島副会長が善光寺の見物を案内して、一部は森本会長の案内で中心街を散策しました。料亭「やま」で4時半に再び集合して懇親会が始まって、2時間ぐらい食事をいただきながら会話を交わしました。

帰りの道に日の入り後の黄金の空を背景に北アルプスの長い峰がはっきり映されました。長野クラブの皆さん、評議会のホスト、温かい懇談会、ありがとうございました。

新年度に向けて

2019-20年度会長 標 克明

会長主題

「心機一転、ふみだそう新しい一歩！」

次年度(2019-20)は甲府ワイズメンズクラブ創立70周年になります。また山梨YMCAも会館を新築移転する年度となります。70周年記念事業委員会をピーター会長のもと石川博会員を委員長として立ち上げ、例会で会員の意見を聞き、その意見も踏まえながら、役員会で何をするか、何ができるか検討してまとなりつつあります。そしてこの70周年を機会に、新甲府ワイズを‘ワイズ’会員みんなで作る新たな気持ちや行動でワイズダムにのぞみ、明るい気持ちをもって70周年を迎えたいと思います。

おりしも年号も令和になりました。いわば新年を甲府クラブ会員全員で次の10年20年につなげる新しい一歩を踏み出す年度にしたいと思いますので、ご協力をお願いします。以下が重点目標です。

【重点目標】

- ① 新規会員の獲得と、ドロップアウトゼロを目標とする。
- ② 例会内容を検討して、例会出席率向上を目標とする。
- ③ 70周年記念事業を成功させる。

また創立70周年記念例会を、山梨YMCA新館開館に合わせて行いたいと思っています。いつもにまして記念事業や記念例会の準備などみなさんに協力していただくことがあると思います。重ねてご協力をお願いします。

これからの行事予定

- 6月22日(土) 山梨YMCA定期総会(山梨YMCA)
 6月25日(火) 甲府クラブ役員会(山梨YMCA)
 7月 9日(火) キックオフ例会(ホテル談露館)
 7月13日(土) あずさ部評議会(岡島ローヤル会館)
 7月19日(金)-21日(日) アジア太平洋地域大会(仙台)

6月 Happy Birthday

メン 根津宏次(1日) 神山玄太(2日)
 遠藤順彦(10日) 石川 博(13日)
 石川和弘(17日)

メネット 宮本由香(5日) 内藤いづみ(6日)
 仙洞田克子(12日)

6月 Wedding Anniversary

宮本秀憲 ♡ 由香(5日)

山梨YMCAだより

総決算の6月

総主事 露木 淳司

6月になりました。各クラブの会長の皆様には一年間本当にお疲れ様でした。YMCAにとっても今月は年度の総決算の月となり、重要な会議が目白押しです。会計監査に事業報告、総会、評議員会、県への報告。そしてチャリティーランに夏休みプログラムの募集作業、さらに今年は新会館建設工事の準備も加わり、目が回りそうです。

おかげさまで介護保険事業や児童発達支援事業が軌道に乗り、YMCAの事業規模は拡大しつつあります。職員も大幅に増えました。スタッフ一同一丸となって日々を過ごしています。ただその分、運営面での課題や人間関係、施設管理などにおけるトラブルが増えています。大きくなればなつたりの備えをしなければなりません。これからもワイズメンの皆様からのご指導が不可欠です。皆様のそれぞれの専門分野を活かしたご支援、そして資金面でのお支えを心より感謝申し上げます。

5月から既に真夏日が始まって、今年は暑い期間がとて長いものになりそうです。8月には恒例のフクロウキャンプを実施します。今年もご支援のほどよろしくお願いします。皆様、健康にはくれぐれもご留意いただき、この夏をご一緒に乗り切りましょう。



今月のワイズ用語

東日本区奈良傳賞

日本のワイズメン運動の創始者の一人で、戦前のワイズ担当主事、戦後初の日本区理事、国際副会長、初代日本区名誉理事として生涯をYMCAとワイズダムの発展の為に尽くされた奈良 傳(ならつたえ・1898-1979)氏を記念して、1982年に「奈良傳賞」として創設された名誉ある個人賞。1997年に東西両区が分かれた際に、東日本区ではこの表彰は一時中断されていたが、2002年に「東日本区奈良傳賞」として復活した。東日本区奈良傳賞選考委員会の議を経て選ばれ、東日本区大会において表彰される。

受賞者の条件は、「ワイズメンズクラブ及びYMCAの会員歴が30年を経過した60歳以上の会員で、その働きがワイズメンの模範とするに相応しい者であること。またこれに準ずる会員で、特に受賞するに相応しいと認められる者」とされている。

過去、甲府クラブからは、奥水正信さん(1988年)、布能壽英さん(2009年)、平原貞美さん(2011年)が受賞され、今回の大澤英二さんは4人目となる。